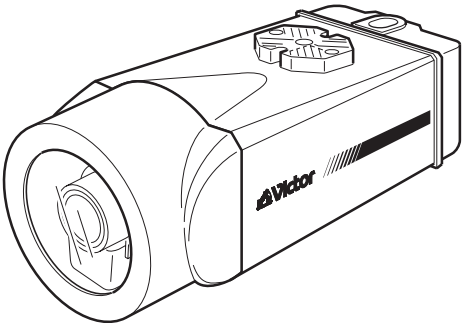
Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

カラービデオカメラ

型名 **TK-S910**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「**取扱説明書**」と「**安全上のご注意**」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別冊の「**安全上のご注意**」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0493-001A

もくじ

はじめに

特長 3
安全に関するご注意 3
正しくお使いいただくためのご注意 4
各部の名称とはたらき 5

準備

CCU（カメラコントロールユニット）との接続 9
接続・設定の流れ 10
リアカバー、レンズカバーの脱着について 11
スイッチの設定 12
フィクサーの取り付け 13
背面部の接続 14
カメラの取付 15
映像の調整 16

その他

保証とアフターサービスについて 17
仕様 18

- 大切な録画の場合は必ず事前にためし撮りをし、正常に録画されることをご確認ください。
- ビデオカメラ、VTR、ハードディスクレコーダーまたはビデオテープなどの使用中、万一これらの不都合により録画されなかった場合、録画内容の補償や機会の損失についてはご容赦ください。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意　：操作上の注意が書かれています。
メモ　：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
☞　：参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。

- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

特長

■ 高画質の実現

38 万画素、高感度 CCD と高解像処理回路の採用で、540TV 本、S/N 50dB を実現しました。

■ 高倍率バリフォーカルレンズ搭載

光学 3.6 倍バリフォーカルレンズ内蔵によって、より細かな監視が行えます。

■ 簡易 DAY & NIGHT 機能搭載

被写体の明るさが暗くなった場合、自動的に白黒映像に切り換える、簡易 DAY & NIGHT 機能の設定ができ、暗いときの監視に役立ちます。

■ フォーカスアジャスト機能搭載

フォーカスアジャスト機能により、レンズアイリスが開放状態となり、フォーカスの調整がしやすくなります。

安全に関するご注意

- 本機を設置する場合は、専門技術が必要となります。設置は、販売店にご依頼ください。
- 本機は、本機自身や接続ケーブルへの誘雷に対しある程度の対応はしておりますが、万全ではありません。落雷の被害が考えられる取付場所では、必ず接続ケーブルにアレスターを追加するなどの対応をとってください。
- 本機は単体で使用することはできません。別売の同軸多重方式のカメラコントロールユニット（CCU）、もしくは、フレームスイッチャーに接続して使用します。使用できる CCU は、TK-U1006、TK-U1403、TK-U1802 です。
- 定格表示ラベルは、カメラ本体底面に貼付しています。
- 設置説明に従わない不完全な取り付けによって、カメラが落下した場合、当社は責任を負いかねます。設置は十分に注意して行なってください。
- 取付部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。
- 本機を天井に取り付ける場合、本機の質量を支えられる十分な強度をもった場所に取り付けてください。十分な強度をもっていない場所に取り付ける場合は、設置前に天井への補強を必ず行なってください。
- 取付ねじやナットでの締め付けが不十分だと本機が落下する原因となります。締め付けは適正かつ確実に行なってください。
- スポットライトなど、高温になる照明器具の近くに設置しないでください。故障や火災の原因となります。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

- 本機は屋内用カメラです。屋外での使用はできません。
- 次のような場所への設置およびご使用はできません。
  - 雨や湿気にさらされる場所
  - 厨房など蒸気や油分の多い場所
  - 使用周囲温度（–10℃ ～ 50℃）を超える場所
  - 腐食性のガスが発生する場所
  - 放射線や X 線及び強力な電波や磁気の発生する場所
  - 振動する場所
  - ほこりの多い場所
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モーターなどの近く）で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 本機を冷気があたる場所やエアコンの噴出口の近くに設置しないでください。急激な温度変化によってレンズカバーがくもるおそれがあります。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- レンズカバーは、レンズふき用布（または柔らかい布）を使用して汚れをふきとってください。

省エネについて

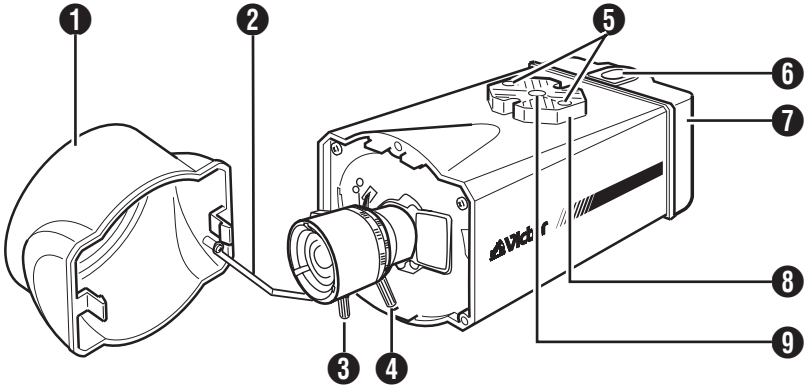
- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

その他

- 本機は AGC 回路内蔵のため、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
- AGC が動作中、トランシーバーなど強い磁気を発生する機器を本機の近くで使用すると、画像にビートなどが発生することがあります。
  トランシーバーなどを使用する場合は、本機から 5 m 以上はなれてお使いください。
- 本機をホワイトバランス ATW（自動追尾）で使用した時、被写体の状況により、自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
- 高輝度の被写体（ランプなど）を撮影した時、画面上の画像に垂直線が表示される現象（スミア現象）や高輝度の被写体周辺ににじみ（ブルーミング現象）などの現象が現れます。これは CCD の特徴で故障ではありません。
- 本機は電子シャッターを出荷時、1/60 に設定しています。
  商用電源周波数 50Hz の地域で蛍光灯照明下（インバーター照明器は除く）では 1/100 に切り換えてご使用ください。
  （1/100 の時、感度が少し下がります。）
- 簡易 DAY & NIGHT 入切スイッチを"ON"にすると、暗い場所では白黒映像となります。この時、感度が上がるため、画面がザラついたり、白点が増えることがあります。またカラー映像と白黒映像の切り換わり時に画面の明るい部分が強調され、見えにくくなることがありますが、故障ではありません
- 高輝度の被写体を写すと、被写体の縦線部にうねりが見られることがありますが、これは本機の特性であり故障ではありません。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって電源電圧が瞬間的に断たれる、もしくは低下した場合、画像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- カメラの電源電圧が低下すると、カメラ内部の入力保護回路が動作して、カメラの電源が切れることがあります。CCU の電源電圧は、定格電圧の –10% 以内でご使用ください。

各部の名称とはたらき

前面部、上面部



❶ レンズカバー

レンズの調整および機能選択スイッチを設定するときにはずします。
(☞ 11 ページ)

❷ レンズカバー落下防止シート

レンズカバーが落下しないように、本体と接続されています。

❸ フォーカス調整リング

左右に動かし、フォーカスを調整します。
(☞ 16 ページ)

❹ ズーム調整リング

左右に動かし、画角を調整します。
(☞ 16 ページ)

❺ トライポットベース取付ねじ（2 本：M2.6 x 8 mm）

ねじは長さ 8 mm を使用してください。

❻ ケーブルブッシュ

ケーブルを通します。
(☞ 11 ページ)

❼ リアカバー

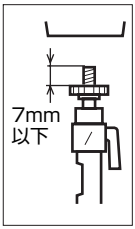
設定や接続するときにはずします。
(☞ 11 ページ)

❽ トライポットベース

出荷時、カメラ上面に取り付けられています。使用状況に応じて下面に取り付けることができます。下面のねじ穴に ❺ トライポットベース取付ねじで取り付けます。
(☞ 15 ページ)

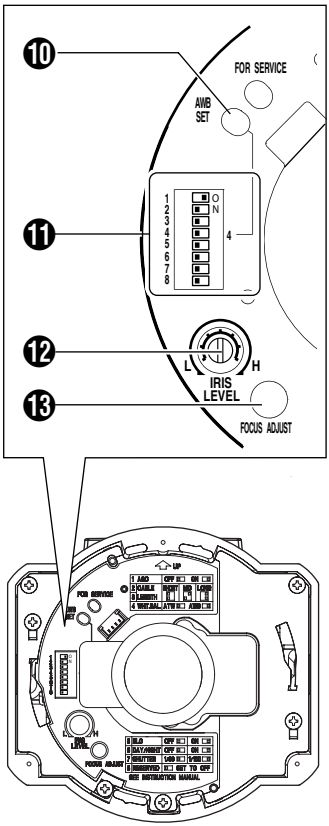
❾ カメラ取付用ねじ穴（1/4 型）

本機をフィクサーに取り付ける場合は、この穴を使用します。
（添付のフィクサー以外をご使用の場合は、ねじの長さは 7 mm 以下のものを使用してください。指定長さより長いねじを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。）



各部の名称とはたらき（つづき）

レンズ部



⑩ [AWB SET]

機能選択スイッチ ⑪ の 4[WHT.BAL.] 設定スイッチが "AWB" に設定されている場合に押すと、自動的にホワイトバランスを調整します。

⑪ 機能選択スイッチ

機能選択スイッチ設定表
（太字は初期設定値）

		OFF ■		■ ON
1	AGC	OFF		**ON**
2 3	CABLE LENGTH	**SHORT**	MID	LONG
4	WHT.BAL.	**ATW**		AWB
5	BLC	**OFF**		ON
6	DAY/NIGHT	**OFF**		ON
7	SHUTTER	**1/60**		1/100
8	RESERVED	■ **SET TO OFF**		

1 [AGC] 自動ゲイン入切スイッチ
"ON" にすると被写体の明るさが不足した場合でも自動的に感度が上がります。
(初期設定値：ON)

2、3 [CABLE LENGTH] ケーブル長設定スイッチ
本機と CCU(カメラコントロールユニット) 間を接続する同軸ケーブルの種類や長さによって、スイッチ設定します。
(☞ 12 ページ)
（初期設定値：SHORT）

メモ：

- 使用ケーブルの種類や長さに合わせ、正しく設定しないと、同期乱れなど、画面不良となります。

4 [WHT.BAL.] ホワイトバランス設定スイッチ
ホワイトバランス調整機能の設定をします。

ATW：
自動色温度追尾モードになります。
照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。

AWB：
自動ホワイトバランス調整モードとなります。
映像を確認しながら [AWB SET] ボタン U を２秒以上押し続けてください。その時点のホワイトバランスに固定されます。
（初期設定値：ATW）

メモ：
- 本機のホワイトバランスは太陽光やハロゲンランプなどに合うよう設定されており、蛍光灯などの人工光に対しては、ホワイトバランスがとれない場合があります。
- AWB モード時、[AWB　SET] ボタン ⑩ を 2 秒以上押さずに途中で離したり、調整範囲外の色温度では正しくホワイトバランスがとれません。

5 [BLC] 逆光補正入切スイッチ

被写体が逆光状態のとき "ON" にするとレンズの絞りが約 1 絞り開き、被写体が見やすくなります。

（初期設定値：OFF）

6 [DAY/NIGHT] 簡易 DAY & NIGHT 入切スイッチ

昼と夜などのように照度が大きく変わる被写体を撮影する場合 "ON" に設定すると、照度が高い場合はカラー映像、低い場合は白黒映像に自動的に切り換わります。

（初期設定値：OFF）

メモ：
- 本項目が "ON" に設定されている場合、機能選択スイッチ ⑪ の 1[AGC] スイッチの設定に関係なく、AGC 機能は "ON" となります。
- 白黒映像では、感度が上がるため、画面がザラついたり、白点が増えることがあります。
- 本機の簡易 DAY & NIGHT 機能は、赤外線投光器などを併用する白黒暗視カメラとは異なり、白黒映像での感度アップ効果を活用した機能です。

7 [SHUTTER] 電子シャッター切換スイッチ

電子シャッターのスピードを切り換えます。

1/60（▮□）　：通常はこの設定で使います。

1/100（□▮）：商用電源周波数 50Hz 地域で蛍光灯照明下によるフリッカー現象を軽減します。（インバーター照明の場合は、1/60 に設定します。）

(☞ 12 ページ)

（初期設定値：1/60）

8 [RESERVED]

使用しません。必ず "OFF" に設定してご使用ください。

（初期設定値：OFF）

⑫ [IRIS LEVEL] 絞りレベル調整ボリューム

自動絞りレンズの絞りレベルを調節します。

通常は、調節する必要はありません。被写体の条件などにより必要な場合は調節します。

暗くする時：反時計方向（L 側）

明るくする時：時計方向（H 側）

メモ：
- 絞りのレベル調節は、機能選択スイッチ ⑪ の 1[AGC] スイッチを "OFF" に設定してから行なってください。
  "OFF" に設定しない場合、L 側に回しすぎると AGC 機能が働き、感度が上がり画質がザラついた感じになります。

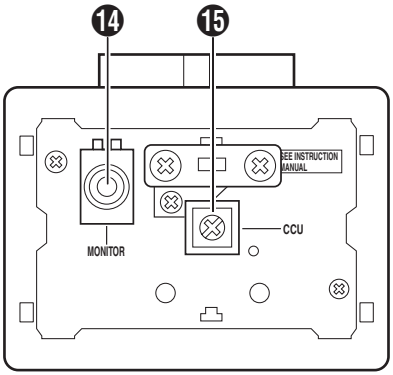
⑬ [FOCUS ADJUST] フォーカス調整ボタン

レンズのフォーカスを合わせるときに使用します。

押すと約 30 秒間レンズの絞りが開き、被写界深度が浅くなるためフォーカスが調節しやすくなります。(☞ 16 ページ)

各部の名称とはたらき（つづき）

背面部



⓮ [MONITOR] モニター出力端子

カメラ映像やレンズの画角、フォーカス、明るさなどを調整する場合、一時的にテストモニターに接続します。
(☞ 16 ページ)

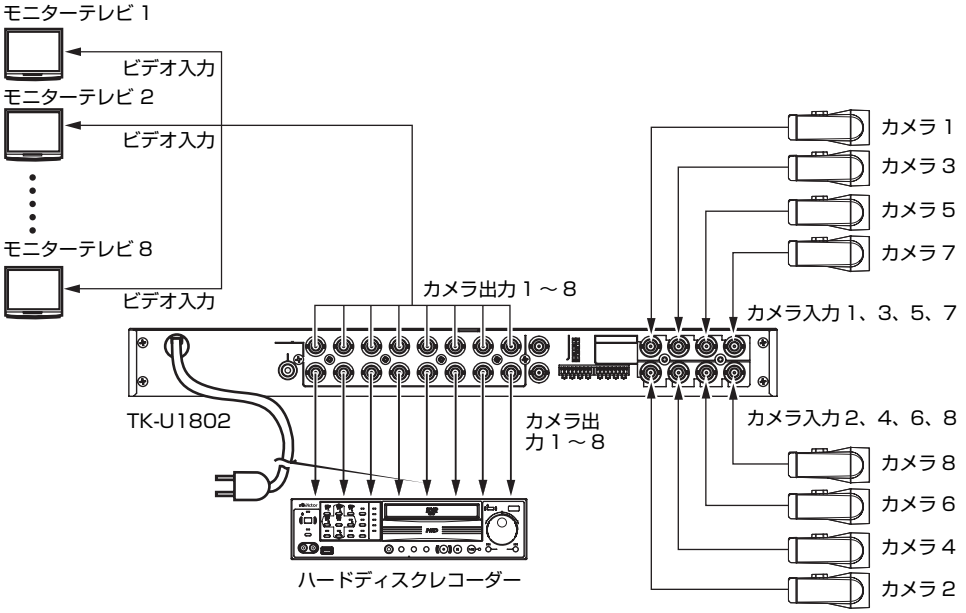
⓯ [CCU] 映像出力端子

カメラ映像を出力します。

CCU（カメラコントロールユニット）と接続します。(☞ 14 ページ)

CCU（カメラコントロールユニット）との接続

TK-U1802(CCU) との接続例



メモ：

- 使用ケーブルの種類により、使用可能な同軸ケーブルの長さが異なります。
- 使用可能な同軸ケーブルの長さは、接続するカメラコントロールユニット（CCU）の性能によって異なります。詳しくは、カメラコントロールユニット（CCU）の取扱説明書をご覧ください。
- 本機と CCU 間を接続する同軸ケーブルの長さの設定は、☞ 12 ページをご覧ください。
- 使用できるカメラコントロールユニット（CCU）は、TK-U1006、TK-U1403、TK-U1802 です。

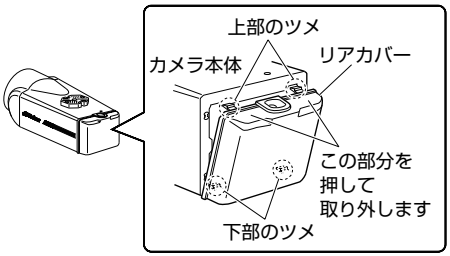
接続・設定の流れ

下記手順で接続・設定を行なってください。接続は、使用機器の電源を切ってから行なってください。

Step1	リアカバー、レンズカバーの脱着について (☞ 11 ページ)
▼	
Step2	スイッチの設定 (☞ 12 ページ) スイッチの設定を行います。
▼	
Step3	フィクサーの取り付け (☞ 13 ページ) フィクサーを設置場所に取り付けます。
▼	
Step4	背面部の接続 (☞ 14 ページ) 映像信号同軸ケーブルの接続を行います。
▼	
Step5	カメラの取付 (☞ 15 ページ) カメラを設置場所に取り付けます。
▼	
Step6	映像の調整 (☞ 16 ページ) 画角・フォーカス・明るさの調整を行います。

リアカバー、レンズカバーの脱着について

リアカバーをはずす

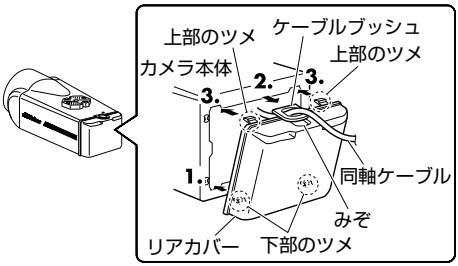


1. リアカバーの上部2箇所を押して上部のツメをはずす

2. 下部のツメをはずす

リアカバーがはずれます。

リアカバーを取り付ける



1. 下部のツメをカメラ本体にひっかける

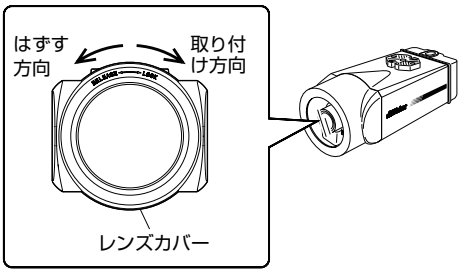
2. ケーブルブッシュをリアカバーのみぞに取り付ける

メモ：

- ケーブルブッシュに、同軸ケーブルを通してからカメラ本体に接続します。(☞ 14 ページ)

3. 上部のツメをカメラ本体に押し込む

レンズカバーをはずす

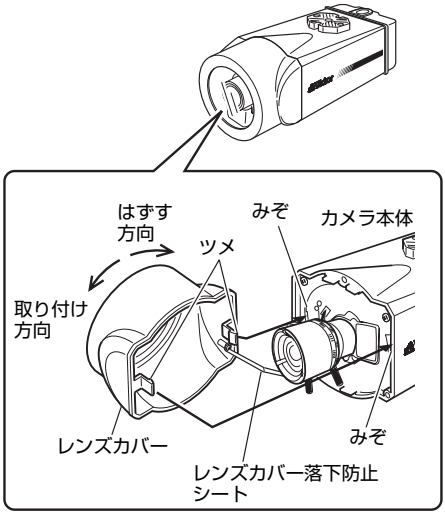


1. レンズカバーをはずす方向に回して、レンズカバーをはずす

メモ：

- レンズカバーとカメラ本体の間には、レンズカバー落下防止シートが付いています。

レンズカバーを取り付ける

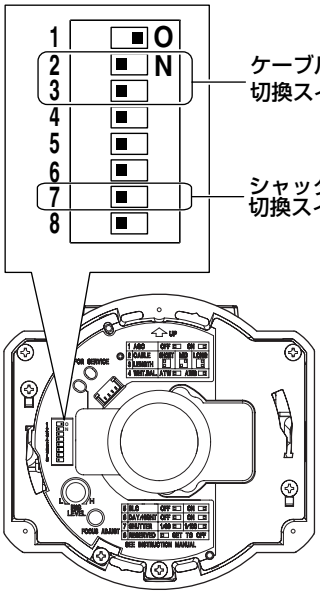


1. レンズカバー内部のツメをカメラ本体のみぞに合わせて押し込み、取り付け方向に回す

スイッチの設定

1. レンズカバー・リアカバーをはずす
(☞ 11 ページ)

2. スイッチを設定する



シャッタースピード切換スイッチ

1/60（■□）　：通常はこの設定で使います。

1/100（□■）：商用電源周波数 50Hz 地域で蛍光灯照明下によるフリッカー現象を軽減します。（インバーター照明の場合は、1/60 に設定します。）

（初期設定値：1/60）

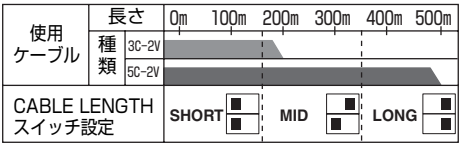
ケーブル長切換スイッチ

本機と CCU 間を接続する同軸ケーブルの長さによって設定します。

ケーブル長	0 m ～ 165 m	165 m ～ 333 m	333 m ～ 500 m
スイッチ設定	SHORT	MID	LONG
			

（初期設定値：SHORT）

使用可能な同軸ケーブルの長さによる位相を補償するため、本機のケーブル長切換スイッチを、下図を参考に設定してください。



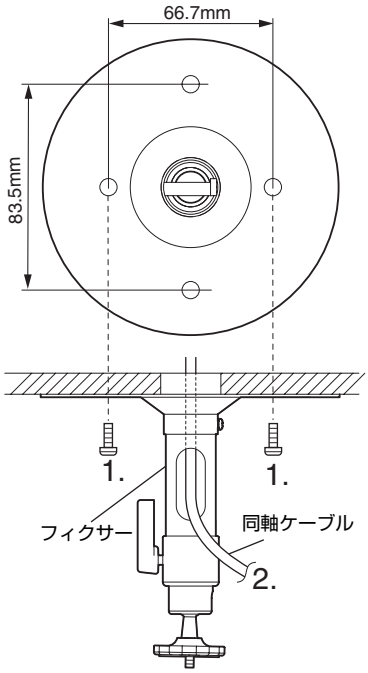
メモ：

- 5C-FB ケーブル使用時の設定
  5C-FB ケーブルを使用した場合、本機のケーブル長切換スイッチを以下のように設定してください。

ケーブル長	0 m ～ 195 m	195 m ～ 395 m	395 m ～ 500 m
スイッチ設定	SHORT	MID	LONG
			

- CCU 側のケーブル補償スイッチ設定
  5C-FB の低損失ケーブルを 333m ～ 500m の長さでご使用になるとき、CCU 側の Cable Compensator（ケーブル補償）設定スイッチまたはメニュー設定を "2" または "MID" に設定してください。
  （CCU 側を "3" または "LONG" 設定でご使用になると、CCU 側のケーブル補償が過補償になり映像にノイズなどのミスクランプが発生する場合があります。）

フィクサーの取り付け



1. フィクサーを取り付ける

付属のフィクサーをしっかりした天井や壁に、付属のフィクサー取付ねじ（M 4×35）4本で固定します。

2. 同軸ケーブルをフィクサーに通す

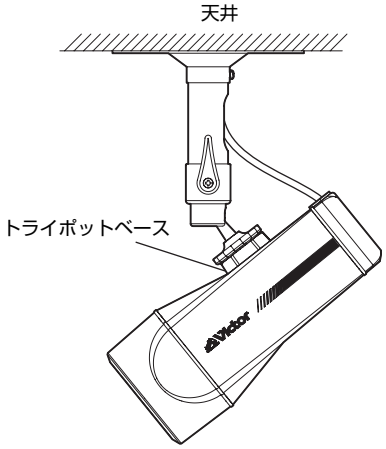
メモ：

- トライポットベースは、カメラの上側または下側に取り付けることができます。（出荷時：上側）
- 壁面に取り付ける場合は、トライポットベースを下側に付け換えてからフィクサーに固定してください。（同軸ケーブルも下側から接続可能です）
  （☞ 14 ページ「 背面部の接続 」）

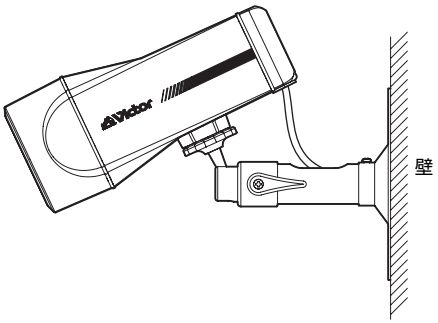
ご注意：

- 付属のフィクサーは本機の専用品です。ハウジングや他のカメラと組み合わせて使用しないでください。落下して、けがの原因となります。

[天井取付例]

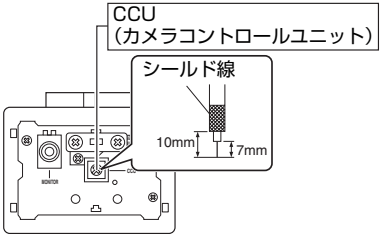


[壁面取付例]



背面部の接続

CCU との接続



- 本機と CCU（カメラコントロールユニット）間を接続する同軸ケーブルの距離によって、本機背面部の CABLE LENGTH スイッチの設定が必要です。(☞ 12 ページ)

メモ：
- 本機と CCU（カメラコントロールユニット）との間の接続ケーブルには電源、映像信号、同期信号等が通っていますので、ケーブル補償器、映像分配器のいかなるものも、ケーブルの途中に挿入して使用することはできません。

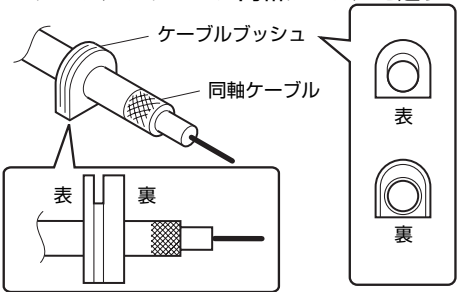
映像信号用同軸ケーブル

同軸ケーブルは、3C-2V、5C-2V または 5C-FB を使用してください。
他のケーブルは使用できません。

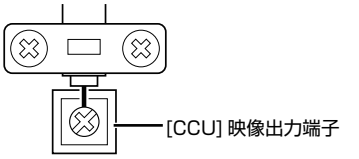
メモ：
- 7C-2V を使用する場合、直接端子台への接続はできませんので、5C-2V ケーブルを本機に接続し、7C-2V ケーブルに中継してください。

天井にカメラを設置する場合の接続

1. ケーブルブッシュに同軸ケーブルを通す

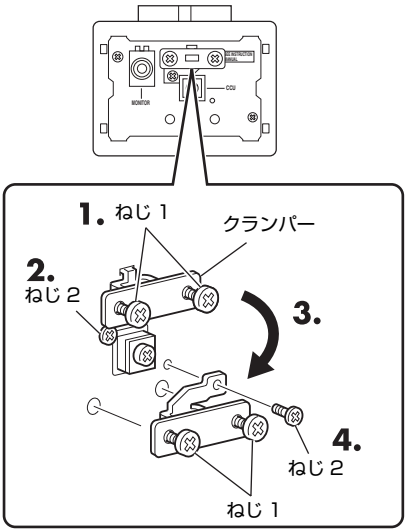


2. 同軸ケーブルを［CCU］映像出力端子に接続する



ご注意：
- ねじ止めする時、同軸ケーブルのシールド線が [CCU] 映像出力端子に触れないように注意してください。

壁面にカメラを設置する場合の接続



1. ねじ 1 をクランパーからはずれない位置までゆるめる

2. ねじ 2 を取りはずす

3. クランパーをカメラ上部から下部に取り付ける

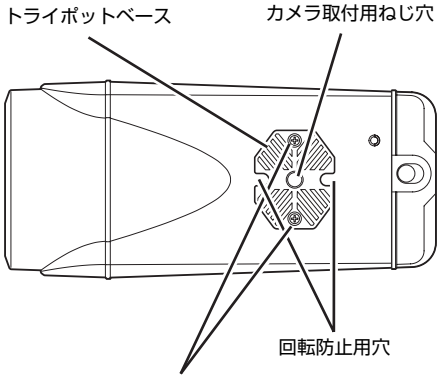
4. ねじ 2 を締め付けてクランパーを固定する

5. 天井にカメラを設置する場合の、接続手順 1 ～ 2 と同様に作業をする

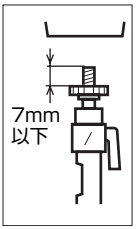
メモ：
- 下側から接続ケーブルを引き出す場合は、接続ケーブルを左側に寄せて取り付けてください。

カメラの取付

本機をフィクサーに取り付ける場合は、トライポットベースにあるカメラ取付用ねじ穴を使用します。



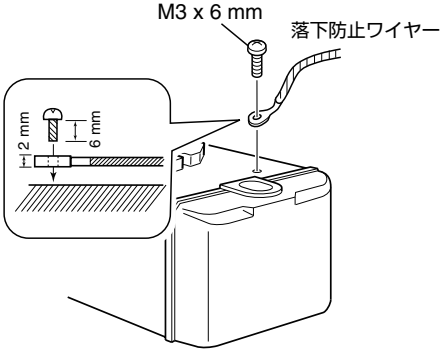
ご注意:



- 添付のフィクサー以外を使用してカメラを取り付ける場合は、カメラ取付用ねじ長さは、取付面より 7 mm 以下のものを使用してください。
  指定長さより長いねじを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。
- 出荷時トライポットベースはカメラ上面に取り付けられています。下面に付け換える場合は、トライポットベース取付ねじ 2 本をはずして付け換えます。
- トライポットベース取付ねじは、長さ 8 mm を使用してください。指定長さより長いねじを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

落下防止について

本機上面に M3 x 6 mm のねじを使い、落下防止ワイヤーを取り付けます。



[落下防止]　⚠ 注意

- 壁または天井に取り付けるには、特別な注意が必要です。お客様による工事は避けて専門の工事業者にお任せください。本機が落下するとけがや事故の原因となります。
- フィクサーに取り付ける場合は、落下防止のため回転防止用穴を利用し、確実に取り付けてください。
- 落下防止のため本機を強度の強いところ（天井スラブまたはチャンネル）と落下防止ワイヤーなどで取り付けてください。
- 落下防止ワイヤーの取り付けは、本機背面のねじ用穴を利用してください。ワイヤーの長さにも十分注意してください。
- 使用する落下防止ワイヤーは、長さ・強度・引き回し・材質（絶縁性）などにも十分注意してください。
- 落下防止ワイヤー固定用指定ねじ（M3 x 6 mm）指定長さより長いねじを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

映像の調整

カメラの取り付けが終わったら、実際の映像を見ながら映像の調整を行なってください。

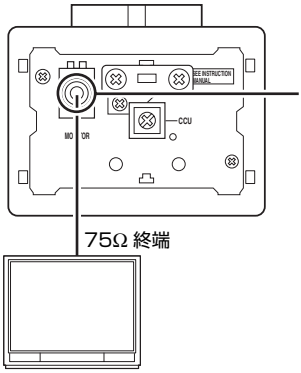
1. レンズカバー・リアカバーをはずす

(☞ 11 ページ)

2. テストモニターを取り付ける

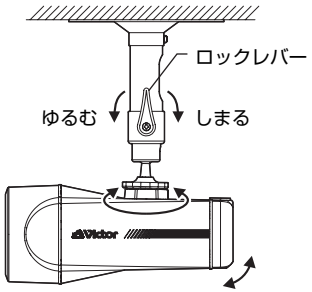
カメラの撮影方向、画角やフォーカスの調整を行うため、本機の [MONITOR] 端子をテストモニターに接続します。

※ 設定をするときは、CCU の電源を ON にしてください。



3. カメラの撮影方向を調整する

ロックレバーをゆるめ、撮影したい方向にカメラを向けた状態でロックレバーを強く締め付けます。

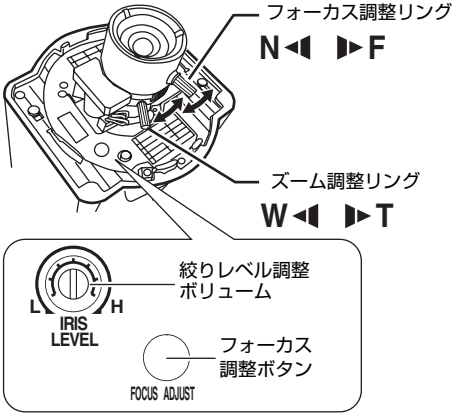


ご注意:

- カメラの撮影方向を調整するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると、破損する場合があります。

4. 画角・フォーカス・明るさを調整する

撮影方向が決まったら、画角、フォーカスの調整、明るさの調整などを行います。



画角の調整

ズーム調整リングのつまみをゆるめ、ズームリングを左右に動かし画像サイズを調整します。

フォーカスの調整

フォーカス調整ボタンを押します。約 30 秒間絞りが開放状態となりますので、フォーカス調整リングの固定ねじをゆるめ、リングを左右に動かしフォーカスを合わせます。

メモ:

- 「画角の調整」と「フォーカスの調整」を 2 ～ 3 回繰り返し、設定してください。
  調整が終了したら、各締付つまみをしめて固定します。
- フォーカス調整ボタンを押すと、電子シャッターが自動的にはたらくため、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。

明るさの調整

通常は調整する必要はありませんが、必要に応じて絞りレベルを調整ボリュームで明るさを調節します。

暗くするとき　：反時計方向（L 側）

明るくするとき　：時計方向（H 側）

5. レンズカバー・リアカバーを取り付ける

調整が終了したらレンズカバーとリアカバーを取り付けます。

(☞ 11 ページ)

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間について

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

部品名	備考
撮像素子（CCD）	一年保証のみ。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理についてはお買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる製品については、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店又は別紙ビクターサービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買上げ販売店又はビクターサービス窓口にご相談ください。

- **機種名：TK-S910**
- **故障の状態をできるだけ詳しく：**
- **ご購入年月日**
- **ご住所、ご氏名、電話番号**

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適正に処理してください。

仕様

カメラ部

テレビジョン方式 ：NTSC 方式準拠
撮像素子 ：1/4 型インターライン転送方式 CCD
：768（H）x 494（V）
カラー化方式 ：単板色差線順次方式
同期方式 ：外部同期（多重 C.Sync 方式）
走査周波数 ：水平：15.734 kHz、垂直：59.94 Hz
CCU 出力 ：VB 0.85 V(p-p)、75 Ω、同軸ケーブルジョイント端子
モニター出力 ：VBS 1.0 V(p-p)、75 Ω、ピンジャック
映像 S/N ：50 dB（標準、AGC OFF、ウエイト付、白 50 %出力）
水平解像度 ：540 TV 本（標準）WIDE 端
最低被写体照度 ：
カラー映像 ：2.5 lx（標準、AGC ON、50 IRE、WIDE 端）
1.0 lx（標準、AGC ON、25 IRE、WIDE 端）
白黒映像 ：1.6 lx（標準、AGC ON、50 IRE、WIDE 端）
0.6 lx（標準、AGC ON、25 IRE、WIDE 端）
ホワイトバランス ：ATW（自動追尾）/AWB（自動調整）（スイッチ切換）
電子シャッター ：1/60 秒（標準）
1/100 秒（50 Hz フリッカーレス）
逆光補正 ：ON/OFF（スイッチ切換）
簡易 DAY&NIGHT：ON/OFF（スイッチ切換）

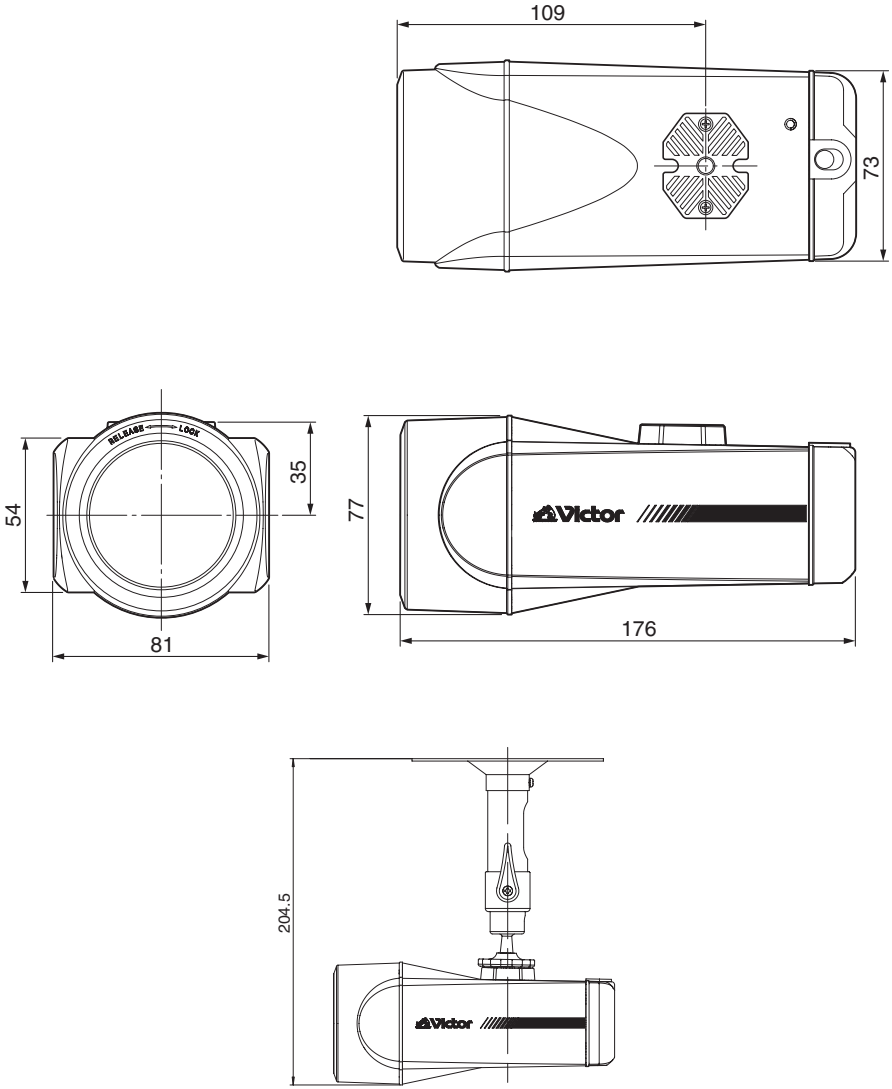
レンズ部

ズーム比 ：約 3.6 倍
焦点距離 ：2.8 mm ～ 10 mm（可変）
最大口径比 ：F1.3 (f=2.8 mm)
F3.0 (f=10 mm)
最小絞り値 ：F360 相当
包括角度 ：f=2.8 mm の時
73 ° (H) x 54 ° (V)
：f=10 mm の時
20 ° (H) x 15 ° (V)

総合

電源 ：CCU から供給
消費電力 ：210 mA（CCU 時最大）
周囲温度 ：–10 ℃ ～ 50 ℃（動作）、0 ℃ ～ 40 ℃（推奨）
周囲湿度 ：35 % ～ 90 % RH 結露なきこと
質量 ：520 g
添付物・付属品 ：取扱説明書 1
安全上のご注意..... 1
保証書 1
ビクターサービス窓口案内 1
フィクサー 1
フィクサー取付ねじ（M4x35）..... 4

外形寸法（単位：mm）



（フィクサー取り付け時）

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

TK-S910 カラービデオカメラ

お客様ご相談センター

フリーダイヤル
0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(045)450-8950** ［代表］

FAX **(045)450-2275**

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町 2969-2　電話(042)660-7245

© 2006 Victor Company of Japan, Limited

LST0493-001A